

(仮称) おぢや未来ビジョン（第六次小千谷市総合計画）基本構想
に対するパブリックコメントの募集結果について

1 実施状況

【募集期間】令和7年11月12日（水）から令和7年12月9日（火）まで

【募集結果】6件（6人）

2 いただいたご意見と市の対応方針

No.	意見	回答	計画修正 の有無
1	<p>■p.12「3-1 快適で利便性の高い都市基盤の整備」</p> <p>私共、東小千谷1号線消雪組合は、総延長約1,800mの消雪パイプと3本の井戸ポンプ施設を維持管理する組合員104名の消雪組合です。1986年に消雪パイプ布設から既に39年経過しています。これまで井戸ポンプ施設配電盤の更新を何度も行なってきましたが、その度に多額の費用負担を組合員にお願いしてまいりました。</p> <p>組合員が現役世代の頃は、多額の費用負担にも耐えてきましたが、現状、年金暮らしの高齢者だけでは消雪パイプの維持は不安材料だけです。特に井戸ポンプ施設の更新費用負担です。</p> <p>現状では工事費の30%補助となっていますが、せめて近隣市町村（長岡市）と同様に60%として頂きたくお願い致します。</p> <p>「克雪都市小千谷」として、市民にとって暮らし易い市政を切にお願い致します。</p>	<p>いただいたご意見は、今後の事業展開や見直しを行う際の参考とさせていただきます。</p> <p>また、ご意見の内容につきましては、市の担当課（建設課）と共有し、検討してまいります。</p>	無
2	<p>本内容は大変美しいバラ色の未来をえがいていると思います。</p> <p>そして、ステージ1～4をほとんどの部分に関して、市が切れ目ないサポートでそれを実現してくれる様に見えます。それは素晴らしいです。</p> <p>ただ、実際は市が全てサポートできる状況ではないと思いますので、難しい点も記載してはどうかと私は感じます。特にP7の様な人口減少への対案を記載するべきではないかと思います。</p> <p>①これからを担う子供たちに、教育の中で小千谷の地域・企業と交流し、愛着を持ってもらう取り組みや、活躍してもらう取り組み</p> <p>（例）子供たちが一度都会に出て戻ってこようとしても、子供たちは小千谷にどんな企業にどんな人がいるのか分かっていません。企業の人の講演を子供が聞</p>	<p>本計画をよりよいものにするために、多くのご意見をいただきありがとうございました。</p> <p>①これからを担うこどもたちへの取組について</p> <p>市では、将来の小千谷市への就職や定着につなげることを目的に、市内の中学校、高校、総合支援学校の生徒を対象とした「おぢやしごと未来塾」を毎年12月頃に</p>	無

	<p>いてみるとかレベルではなく、子供たちが都会に出る前（中学・高校）に、子供と企業や地域との一人や少人数での話し合いの交流の場が必要だと思います。一度、都会に出ても、あの企業のあの人に会いに行ってみようという人が地元にいるかいないかで、若者が戻ってくるかどうかは随分違うと思います。</p> <p>また、こういう活躍ができるというイメージも沸くと思います。</p> <p>②子育て中のママ、パパの場づくりやサポートする取り組み</p> <p>（例）私がこのまちの子育て中のママさん、ママさん世代の人と話をすると、「この町では産め産めと言われて嫌になる」という話を多数聞きます。プレッシャーをかけることではなく、子育てママさん・パパさんファーストの地域にするマインドチェンジ、ルールチェンジが必要だと思います。</p> <p>また、子育てママさん・パパさんの何でも話しきれる居場所（子供を連れてゴロゴロできるカフェ）、みたいなものがあるといいと思います。</p> <p>③担い手が減少する中で、本当にそれが必要なのかを問いかけ、若者に過度な負担をかけない取り組み。</p> <p>（例）例えば昔は人が多数きたイベントのためにサポートでまちの人が集まることがあります。でも、今は全く人は来なくなっています。そういうものが必要なのかどうかを考えていくことも必要だと思います。これは年配の人にとってももちろん、必要と思います。</p>	<p>開催しています。本事業では、生徒に地域を支える産業や魅力的な企業を知つもらう機会として、市内企業ブースの見学や高校生による学校の取組紹介などを実施しております。</p> <p>また、就職支援事業では、企業と学生をつなぎ、職場見学や体験により地元企業を知る機会を提供しています。</p> <p>ご提案いただいた、企業の方と生徒が深く話し合う交流の場を増やすことは今後も重要となりますので、交流機会を創出する取組を検討する際の参考とさせていただきます。</p> <p>②子育て中のママ、パパの場づくりやサポートについて</p> <p>市では現在、基本構想で示した目標を達成するための具体的な施策を体系的にまとめた「基本計画」の策定を進めています。安心してこどもを産み育てられる環境の整備につきましては、この「基本計画」において具体的な取組等を記載する予定です。</p> <p>③担い手の必要性について</p> <p>市民の皆様とよく話し合いながら、若者だけでなく、地域住民全体に過度な負担ならないよう、地域活動やイベントの効率化・スリム化、そして新しい活動への転換を考えるための施策を検討してまいります。</p>	
3	<p>■p.12「3-3 適切な医療が受けられるなど、健康的に過ごせる環境整備」</p> <p>現在、70代の父が長岡の日赤で治療中です。治療内容は1週間投薬注射し3週間休薬、また1週間投薬というものです。看護師による問診、医師の診察、投薬にかかる実際の時間は10分もかかりませんが、通院と待ち時間で午前が終わります。</p> <p>担当医に地元小千谷で治療できないか確認したところ、小千谷で出来る病院はないと言われ、育休中の私</p>	<p>市では現在、基本構想で示した目標を達成するための具体的な施策を体系的にまとめた「基本計画」の策定を進めています。</p> <p>地域医療体制の充実につきましては、市民が笑顔と希望を持って暮らし続けるために不可欠な基盤と考えております。そのため、「基本計画」において具体的な取組等を記載する予定です。</p> <p>今後も引き続き、地域医療の確保に取り</p>	無

	<p>が父に付き添っています。拘束時間や身体的負担も大きく、送迎できる家族がいない患者さんは、日赤までの直通バスもないため、どうしているのだろうと疑問もあります。</p> <p>また、小千谷の個人医院には昔からお世話になっていますが、素敵な先生方も多く、今後の地域医療の拡充について具体的な計画を明確に示してほしいです。専門医の不足、脆弱な医療体制、産婦人科継続の有無が不安定だと、子育て世代に「小千谷で子育て」を進めることは難しいと思います。</p>		
4	<p>昔から伝わる花嫁行列を行ったらどうでしょうか。今年中に結婚する2人に対して頂いたらどうでしょうか。仲人の手をそえて頂いて、花嫁さんが歩く姿を皆さんに見て頂いたらどうでしょうか。</p> <p>私も50年前、花嫁姿で歩いて嫁いで来ました。もう一度、その姿を見たいと思っています。</p> <p>よろしくお願ひします。</p>	<p>いただいたご提案は、市民の皆様の地域文化や伝統を大切にしたいという気持ちを表す貴重なご意見として受け止めさせていただきます。</p> <p>今後、地域のお祭りやイベントなどを企画・検討する際の参考とさせていただきます。</p>	無
5	<p>■p.11「4つのライフステージ別にみるまちづくりの方針」</p> <p>小千谷市内のスポーツ環境について、屋内施設は「総合体育館」や建設中の「ソコラテ」など、素晴らしい施設が在ります。しかし、屋外施設は陸上競技場やサッカーなどで使用の多目的コートにおいて、県大会レベルの公式大会を開催できるような施設が在りません。(野球場は良いものが在りますが)</p> <p>小学生や中学生の子供がスポーツすることにおいて、指導者的人材やその能力等のソフト面の環境ももちろん大切ではありますが、ハード面、すなわちトレーニング施設が良い環境であることは欠かせない要素です。</p> <p>サッカーの環境では近隣の市町村には人工芝ピッチの素晴らしい施設が在ります。</p> <p>人工芝ピッチのメリットは、土のピッチに比べて転倒時などの怪我のリスクが大きく軽減するのはもちろん、多少の雨でもさほど影響なくスポーツをプレーすることができます。地面がぬかるんで使用者の衣類が汚れる事もありません。そのため、使用形態が大幅に広がります。</p> <p>このように人工芝ピッチのメリットは非常に大きく、現状では小千谷市の小学生・中学生がその環境を求めて市外のスポーツクラブを所属クラブに選択する事態がたくさん起こっています。</p>	<p>いただいたご提案は、スポーツ振興の観点から地域の活性化につながる重要なご意見として受け止めさせていただきます。</p> <p>現在スポーツコミュニティプレイス「ソコラテ」の建設を進めておりますが、市民の皆様から安全にスポーツを楽しんでいただけるよう、今後もスポーツ関連施設の整備を進めて参ります。</p>	無

	<p>小千谷市に人工芝ピッチのスポーツ施設を建設することにより、小千谷市内の子供が市外に出ていくことなく「近くて」「安心して」「安全に」スポーツに取り組むことができます。また、市外の子供達からも所属クラブに小千谷市のスポーツクラブを選んでいただき、小千谷市に人が集まる要素になると考えます。</p> <p>人工芝ピッチのスポーツ施設が在るさらなるメリットは、大きな大会（新潟県大会や北信越大会、国体など）を開催できることです。私は新潟県クラブユースサッカー連盟の理事を務めておりますが、サッカーの県大会などを開催した場合、一日の開催で選手が 200 人前後、その保護者様が 200～300 人前後、計 400～500 人の来場が予想されます。</p> <p>来場された方が小千谷市内の店舗で買い物をしたり、飲食をしたり、宿泊したりと、経済への好影響も期待されます。</p> <p>このように、屋外施設（とりわけ人工芝ピッチ）を建設する効果は非常に大きいと考えます。是非、ご検討いただければ幸いです。</p> <p>私も小千谷市で生まれ、東小千谷小学校、東小千谷中学校、小千谷高等学校と在籍してまいりました。</p> <p>この先の将来も、小千谷市が子供達にとって夢や目標に向かって成長していくける環境であること、小千谷市の未来が素晴らしいものになることを心より願っております。</p>		
6	<p>本計画案を拝見し、「子育てしやすい・働きやすい・くらしやすい・みがく／つなぐ」という 4 つの方向性に強く共感しております。市民・事業者・行政が協働し、未来をつくるという姿勢に賛同しつつ、本計画がより実効性を持つために下記の点について改善をご検討いただけすると幸いです。</p> <p>■p. 6 「小千谷市民の3箇条」</p> <p>3箇条（「挑」「援」「発」）という市民の行動変容を促すメッセージ自体は魅力的ですが、行政計画の中で市民の理想行動を規定する形式となっており、市民自治の観点から慎重な扱いが必要と感じます。仮に三箇条として設定するなら、より多くの市民を巻き込んだうえで出てくるべき内容だと思われます。</p> <p>市民像を提示するよりも、市民の活動を後押しする制度・環境整備（挑戦支援、交流拠点、情報発信の仕組みなど）を行政の役割として示していただくことで、</p>	<p>本計画をよりよいものにするために、多くのご意見をいただきありがとうございました。</p> <p>■「小千谷市民の3箇条」について</p> <p>人口減少を抑え、笑顔と希望を持って安心して住み続けられるまちづくりを進めるためには、行政だけでなく、市民・企業・団体などあらゆる方々が自分ごととして行動していくことが必要と考えております。「市民の3箇条」という項目は、市民一人ひとりが自分ごととして意識していただきたい内容として記載したのですが、強制的な意味合いとして誤解されやす</p>	有

<p>市民の行動変容を強要することなく自然に挑戦・発信が生まれると考えます。</p> <p>また、市民・事業者・行政が今後のまちづくりについて対話できるオープンな場を設けることも一案として期待します。</p>	<p>いことから、みんなで大切にしていきたい「おぢやの3つの合言葉」として行政からの提案という表現に改めるとともに、市民・企業団体・行政のそれぞれの立場での具体的なアクション例を追加いたします。</p> <p>また、市民の皆様との対話の機会として、本年度は子育て世代、市内企業で働いている方、学生、商店街など様々な立場の方々との意見交換の場を設けてまいりました。今後も継続して取り組んでまいります。</p>
<p>■p.7「目指すまちの姿の実現により、今後も持続するまちへ」</p> <p>2050年に25,000人を維持するという人口目標について、本計画では「みんなの生活の質を守り、小千谷を今後も持続させていくために必要な市民の人数」とされています。しかし、総合計画はEBPM（エビデンスに基づく政策形成）が求められる計画であるため、この人口目標が財政運営・公共サービス・公共施設更新・社会保障などの観点から、具体的に何を・どの程度維持できるのか、より定量的な根拠が明示されると、市民・事業者が目標達成に向けて協力しやすくなると考えます。特に、国立社会保障・人口問題研究所の推計との差分（2050年で+3,941人）をどの施策で埋めるのか、その戦略も説明されることを期待します。</p>	<p>■人口目標について</p> <p>国立社会保障・人口問題研究所の推計において、2050年には人口が20,714人となる見込みであり、その人口構成は65歳以上の老人人口の割合が働く世代である生産年齢人口の割合を上回る予想となっています。すでに担い手不足など人口減少に伴う影響が出ている中で、将来の安定した経済活動を維持するためには、生産年齢人口の割合を増加させる必要があります。そのため、当市の人口ビジョンにおいては、様々な施策により現状を改善し、目標値として定めている数値をクリアすることで25,000人が維持できるものと見込んでおります。</p> <p>説明が不足している部分については、長期の視点から見た人口構成をわかりやすく簡潔にまとめ、基礎資料として追加いたします。</p> <p>なお、基本構想はまちづくりの全体的な方向性を示すものであり、人口減少対策に関する各施策については、今後策定する「基本計画」の中で人口構成の改善に向けた目標値等を示してまいります。</p>
<p>■p.3、9、11 ライフステージの構成 （「ステージ1=こそだて」）】</p> <p>「こそだて」が最初のステージとなっている点は、人口対策という喫緊の課題への行政の強い意思として理解できます。しかし、子どもを持たない選択・事情の</p>	<p>■ライフステージの構成について</p> <p>ステージ構成は、成長過程から働き、暮らしを形成し、地域の魅力が生まれる一連のサイクルをイメージしてステージ1から4に分類し、体系的に示したもので、ど</p>

<p>ある家庭・単身者・DINKs・移住者・高齢者など、現在の社会の多様性を考えると、すべての市民が計画を自分事として捉えられない可能性があります。</p> <p>SDGs の「誰一人取り残さない」や SDGs 未来都市としての観点からも、すべての市民を包摂する構成を明確にするため、以下の 2 点をご検討ください。</p> <p>1 点目／ステージ 1「こそだて」の定義拡大：子育て世帯への支援に留まらず、地域全体で次世代を育む（教育、安全、地域コミュニティなど）という、より広い概念としてステージの位置づけを強化していただくこと。</p> <p>2 点目／後続ステージの明確化：子育てをしない多様な市民の“くらしやすさ”の施策（例：単身者の生活支援、高齢者のコミュニティ形成支援、多様な世代の交流拠点整備など）について、ステージ 3「くらす」やステージ 4「みがく・つなぐ」において、具体的な施策と目標として明確に位置づけていただくこと。</p> <p>これにより、子育てを最重要課題としつつも、多様な市民像を前提とした施策の展開が可能になり、すべての市民が自分事として計画を捉えやすくなると考えます。</p> <p>■p. 3~4、9、11 移住・関係人口</p> <p>本計画では U ターンの文脈が中心となっていますが、I ターン・新規参入人材・地域外との複業人材は本市に新たな価値や視点をもたらし、人口減少対策・産業振興・地域活性において重要な役割を果たします。移住者は、仕事・住まい・仲間づくり・行政手続き等、U ターンとは異なる支援ニーズがあるため、I ターン人材の活躍がしやすい条件整備を計画上に位置づけていただけだと、施策効果が高まる感じます。</p> <p>■農業・中山間地・産業の位置づけについて</p> <p>本市の経済・景観・コミュニティの基盤を支える「農業・地域産業・中山間地域の生業」についての記述が相対的に少なく、位置づけが弱い印象です。就労・移住・子育て・コミュニティ形成とも密接に関わる領域であるため、基本構想段階において明確な方向性を示</p>	<p>のステージも重要となります。小千谷の未来を地域全体で育て、定着につなぐための環境整備として各ステージの施策が連動しながら同時進行し、相互に発展し続けることを目指しています。</p> <p>近年は多様な生活様式が見られますが、人口減少の抑制には出生数の増加に向けた施策は欠かすことができません。そのため、ステージ 1 では出産や子育てを希望する方に重点を置いた内容となりますが、子育ての定義としては、ご意見のとおり、地域全体で次世代を育むことが重要であり、そうした広い視点を取り入れた施策体系となるよう進めています。また、子育てを選択しない方については、ステージ 1 においては地域の応援者として、ステージ 2 から 4 においては、働きやすく暮らしやすさにつながる施策の対象と考えています。</p> <p>■移住・関係人口について</p> <p>主に小千谷出身者から戻って来てもらう U ターンの視点が強い表現になっていますが、I ターンや二地域居住の視点も含めた広い施策が必要と考えていますので、P11. ステージ 2 のタイトル内で「若者が戻ってきたい」という表現を「みんなが選びたくなる」に変更し、詳細な施策を「基本計画」に記載します。</p> <p>■農業・中山間地・産業の位置づけについて</p> <p>本計画においては、農業、水産業、商工業など地元産業の活性化については、ステージ 2 の分類されており、また自然・景観についてはステージ 4 の魅力向上に分類</p>
--	--

<p>していただけると、地域の持続可能性がより強固になると期待します。</p> <p>■施策・評価・予算連動の明確化について</p> <p>総合計画が行政運営の羅針盤となるためには、施策の優先順位・評価軸・予算との連動を明示することが重要です。本市はSDGs未来都市に選定されていることから、SDGsに沿った「透明性／説明責任／データに基づく政策形成」が示されることで、行政・市民・事業者の協働がより進むと感じます。</p> <p>また、各目標ごとに市が主体的に進める2026年度以降の具体施策例が1~2つ記載されると、実施計画との接続が明確になり、市民・企業も参画しやすくなると考えます。</p> <p>■総括</p> <p>本計画案は本市の未来への前向きな姿勢が表れた魅力的な構想と感じております。一方で、多様な市民像の前提、移住者の視点、産業基盤の位置づけ、施策の具体性、EBPMの観点が補強されることで、より包摂的で実効性の高い計画になると確信します。</p> <p>当法人は、定款の目的である「つながりを力に、挑戦者を生み出しやりたいことを実現できるまち」の実現に向けて、特に地域おこし協力隊サポートや農業支援、挑戦者を生み出すイベント事業を通じて、引き続き市民・挑戦者・移住者の支援に取り組んでまいります。</p> <p>今後の計画推進においては、当法人が持つ知見やネットワークを活用した連携と協働の機会が生まれることを強く願っております。</p> <p>以上、意見提出とさせていただきます。</p>	<p>しています。なお、詳細な施策については「基本計画」に記載します。</p> <p>■施策・評価・予算連動の明確化について</p> <p>本計画に記載する4つのステージは、全てが重要な項目であり、相互に連動しなければ人口減少の抑制・住みやすいまちにはつながらないことから、基本構想では優先順位の記載はしていません。そのため、具体的な施策を記載する「基本計画」において、優先順位の高い施策を掲載します。</p> <p>評価方法としては、人口減少をどれだけ抑制しているかを可視化した指標を用いながら、各ステージの進捗を確認し、市民が参加する「総合計画審議会」において評価していただきます。</p> <p>予算との連動については、施策に基づく具体的な事業計画として、毎年作成する向こう3年間のアクションプラン（実施計画）において明確に設定します。</p> <p>基本構想の策定にあたっては、様々な市民の皆様と意見交換を行い、これまで以上に市民の皆様が読みやすく親しみやすい内容となるよう工夫したものです。</p> <p>新しいことにチャレンジし、地域全体で小千谷市を未来につないでいくために、様々な視点からご協力いただけた幸いです。</p>
--	--